

小麦「イワイノダイチ」の品種特性					
<p>[要約] 「イワイノダイチ」は、早播や地域によっては5月末に収穫が可能な秋播型早生小麦品種である。「農林61号」に比べて<u>幼穂凍死</u>が極めて少なく、<u>耐倒伏性</u>、<u>耐穂発芽性</u>が優り、<u>播種適期</u>巾が広い。外観品質が良好で収量は優れ、千粒重は重い。<u>製粉・製めん適性</u>は同程度に優れる。</p>					
担当部署	農産研究所・栽培部・作物品種研究室			連絡先	092 - 924 - 2848
対象作目	麦	専門項目	品種選定	成果分類	品種選定

[背景・ねらい]

麦の民間流通において、高品質小麦の安定生産が重要視されており、収穫期の雨害が回避できる作型の開発および品種の作付けが緊急な課題となっている。このため、早生種で早播にも適応できる小麦品種が農家及び関係機関から強く望まれている。

そこで、「イワイノダイチ」の品種特性と地域適応性を明らかにする。(要望機関名：農業振興課(H7)、北筑前普(H11))

[成果の内容・特徴]

「イワイノダイチ」(交配親：秋9 / 西海168号 九州農業試験場育成)は「農林61号」に比べて次のような特性を有する。

1. 秋播性程度は で、出穂期は6日、成熟期は4～6日程度早い早生種である。早播や地域によっては5月末に収穫が可能である(表1)。
2. 穂の色は褐色で、稈長は6cm程度短く、穂数は多い(表1)。
3. 耐倒伏性は優れ、特に倒伏関連形質のチェイン法によるcLr値が大きい(表2)。
4. 穂発芽性は同程度の「難」で、「チクゴイズミ」より明らかに優れる(表2)。うどんこ病や赤かび病は同程度の「中」である(データ略)。
5. 容積重や千粒重は重く、収量は優れ、検査等級も安定して優れる(表1)。
6. 早播による幼穂凍死率は「農林61号」、「チクゴイズミ」より明らかに少ない(表2)。
7. 粉の最高粘度及びフォリングナンバー値は安定して優れる(表3)。
8. 製粉歩留は高く、粗タンパク質含有率は同程度に優れる。粉の色は良好で、澱粉の粘性が優れている。製めん適性は同程度に優れる(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 「イワイノダイチ」は県下の平坦地に普及が図れる。
2. 11月下旬が標準的な播種時期であるが、早播にも適応できる。

[具体的データ]

表1 生育、障害及び収量

試験場所	播種時期 (月・日)	品種名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	子実重 (kg/a)	同左比率	障害程度		千粒重 (g)	容積重 (g/L)	検査等級
									倒伏	発芽粒(%)			
農産研究所	11.5	ワイダ仔	4.2	5.28	89	552	46.8	107	1.2	0.8	41.4	832	2.8
		農林61号	4.8	5.31	92	538	43.8	100	4.4	1.0	36.3	832	3.2
	11.25	ワコイミ	4.2	5.28	91	540	54.6	125	2.3	3.0	39.0	818	2.8
		ワイダ仔	4.11	6.1	83	524	51.3	108	0.4	0	41.2	834	2.4
		農林61号	4.17	6.7	93	488	44.7	100	2.9	0.1	38.4	834	3.0
		ワコイミ	4.13	6.2	87	469	52.6	110	1.0	0.5	39.7	829	2.0
豊前分場	11.25	ワイダ仔	4.10	5.30	87	549	49.6	111	1.6	0.2	38.9	806	1.7
		農林61号	4.16	6.3	95	493	44.8	100	3.0	-	35.6	807	2.7
		ワコイミ	4.12	5.31	90	429	51.3	115	1.7	2.8	37.1	800	1.8
筑後分場	11.25	ワイダ仔	4.11	5.29	83	506	53.7	116	0.8	-	38.3	814	2.1
		農林61号	4.16	6.2	93	461	46.5	100	2.3	-	36.4	814	2.3
		ワコイミ	4.12	5.30	85	469	54.9	118	0.9	-	36.8	817	2.2

注) 1. 数値：平成8～12年度の5年平均値。筑後分場のみ平成9～12年の平均値。2. 障害程度：0(無)～5(甚)の6段階で表示。3. 容積重はワコイミ穀粒計で計測し、平成11～12年の平均値で示した。4. 検査等級は1(1等/上)～6(2等/下)の6段階表示。

表2 早播における各種障害と倒伏関連形質

品種名	幼穂凍死率 (%)	穂発芽発生率 (%)	倒伏関連形質
			cLr値 (g)
ワイダ仔	0.1a	14.9a	5.91b
農林61号	5.8b	19.7b	-
ワコイミ	6.3b	34.2c	4.99a

注) 1. 幼穂凍死率は平成9～11年の3力年、穂発芽発生率は平成10年度農産研究所産、倒伏関連形質は平成9年度豊前分場産。
2. 穂発芽発生率は成熟期に採穂し、穂発芽検定器内(5日間)で検定し、粒率で表示した。
3. 同一文字は平均値間に有意差なし(p<0.05)。
4. cLr値は(1000粒重(1000粒数×1粒の重さ)÷稈長)で表す。

表3 早播における最高粘度とフォリングナンバー

品種名	最高粘度(RVU)			フォリングナンバー(秒)		
	平9	平10	平12	平9	平10	平12
ワイダ仔	368b	344b	382a	392b	395b	388b
農林61号	342b	337b	363a	381b	370a	388b
ワコイミ	194a	285a	380a	192a	309a	353a

注) 1. 農産研究所産。2. 最高粘度は粘度計で測定。3. 同一文字は平均値間に有意差なし(p<0.05)。

表4 製粉特性及び製めん適性

播種時期 (月・日)	品種名	製粉歩留 (%)	テストミル60%粉				製めん適性(合計)	
			灰分 (%)	粗ダマク (%)	色相 (C.V.)	最高粘度 (B.U.)	H10	H11
11.5	ワイダ仔	70.4	0.44	8.5	1.1	945	63.9	71.1
	ワコイミ	69.6	0.42	7.0	0.9	845	66.0	72.9
11.25	ワイダ仔	71.9	0.40	8.1	-0.7	1040	70.9	73.6
	農林61号	68.0	0.38	8.1	-0.8	1025	72.0	74.3

注) 1. 福岡農総試・農産研究所産、11月5日の早播と11月25日の標準播共に平成10、11年の2力年の平均。製めん適性のみ合計点を単年度で表示。2. 分析：九州製粉懇話会。

[その他]

研究課題名：麦類奨励品種決定調査

予算区分：経常

研究期間：平成12年度(平成8～12年)

研究担当者：尾形武文、佐藤大和、内村要介、岩淵哲也、川村富輝、松江勇次